

神奈川私学保連 NEWS



会長就任のごあいさつと 2025年度の活動について

神奈川県私学保護者会連合会 会長 加賀美 博之

(聖光学院中学校高等学校 後援会副会長)

2025年度より、神奈川県私学保護者会連合会（以下、私学保連）の会長を務めさせていただくことになりました。聖光学院後援会副会長の加賀美博之と申します。まだまだ学ぶことの多い立場ではありますが、「子どもたちの未来のため」「神奈川の私学の発展のため」に、神奈川の私学を支える保護者の皆様とともに、力を合わせて歩んでまいりたいと思っております。

初めに、本年5月まで11年の長きにわたり私学保連を力強くけん引されてきた鴨下博厚前会長に、深い感謝と敬意を申し上げます。前会長は、県内私学の教育環境の充実や保護者会のネットワーク構築に尽力され、行政や関係機関との対話を粘り強く積み重ねてこられました。そのご尽力があったからこそ、今の私学保連があり、私たちはそのバトンをしっかり引き継いでいかねばと感じております。

さて、私学保連は、各学校が単独で活動するのではなく、神奈川県内の私立小・中・高等学校の保護者会が連携し「神奈川私学」として一つにまとまりながら、神奈川県私立中学高等学校協会（以下、私立中高協会）の先生方と力を合わせ、まさに二人三脚で歩んでいます。子どもたちが安心して学べる環境を守り育てる

とともに、私学の持つ多様性と独自性を次の世代へとつなげていくための活動を続けていきます。

今年度も、さまざまな取り組みを重ねてまいりました。8月には、日本私学保護者会連合会による全国大会（総会・研修会）が都内で、また関東私学保連大会が栃木県宇都宮市で開催され、私学保連の皆さんと参加してまいりました。他県の保護者会と交流し、情報や課題を共有することで、私学教育の共通課題に取り組む意識を新たにしました。また9月には、私立中高協会の先生方とともに神奈川県庁を訪れ、県議会議長に対して、私学助成の一層の充実・拡充を要望いたしました。

私学に対する公的支援には、大きく分けて2つの柱があります。一つは、生徒側への授業料の支援で、こちらは国会でもたびたび議論され、報道等で目にされる機会も多いかと思えます。そしてもう一つが、学校側への支援である経常費補助であり、これは教育設備の整備や学校運営の安定に直結する、非常に重要な制度です。近年は授業料支援に注目が集まりがちですが、学校への直接的な支援も同じく重要であり、決して忘れてはならないものです。

ところが、神奈川県における経常費補

助は、残念ながら全国的に見ても低い水準にとどまっております。お隣の東京都と比べても、その支援の差は歴然であり、まさに多摩川を挟んで「水をあけられている」と言わざるを得ません。この格差を少しでも縮めるために、私学保連としては今後も粘り強く、行政や関係機関へ働きかけてまいります。

11月には、私学助成を国・県に直接訴える重要な機会が予定されています。11月5日には文京シビックセンターにて私学振興全国大会が、続く11月17日にはパシフィコ横浜にて神奈川県私学振興大会が開催されます。これらの大会は、私たち保護者の声を社会に届ける貴重な場です。各校保護者会にご案内を差し上げますのでぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

私学教育を取り巻く環境は日々変化していますが、だからこそ私たち保護者が学校と連携しながら歩み続けることが、ますます求められていると感じています。子どもたち一人ひとりが、その子らしさを発揮できる社会の実現のために。そして神奈川私学が、これからも特色ある教育を展開し続けられるように。みなさまとともに、できることを一つずつ積み重ねていきたいと考えています。

今後とも、私学保連の活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2025年

定時総会の開催

（神奈川私学の発展のために）

5月22日（木）に私学会館にて開催した定時総会。神奈川私学（小・中・高）の保護者会加盟校86校中、出席校25校、委任状提出校55校で総会は成りました。

鴨下博厚会長の挨拶に続き、来賓として私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長（聖光学院中学校高等学校理事長・校長）からご挨拶をいただきました。議長には加賀美博之副会長が選出され、2024年度事業・決算報告と2025年度事業計画と予算が提案され、原案通り承認されました。今年度役員の改選について、役員推薦委員会の飯塚昇委員長より提案があり、13名の役員が承認されました。また、長きに渡り役員を務められ今回退任される鴨下博厚会長に感謝状が贈られました。加盟校、会員の皆様方には、引き続き本連合会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



ご挨拶（総会より）

一般財団法人

神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

（聖光学院中学高等学校 理事長・校長）



神奈川県私立中高協会理事
会長の工藤でございます。鴨下会長が今お話ししましたように、私学の場合はどうしてもそれぞれの学校だけではなかなか力になれません。様々なことを行政に伝える場合には、組織としてまとまって主張し行動することが必要になります。そのために、それぞれの私立学校とそこへ通う保護者の皆様方が手を取り合つて、様々な要求を伝えていく。これが私学の保護者会が組織として連合している意味であります。

私立学校というのは基本的には県の管轄になります。ですから、県に対して色々なことを申し上げていきます。毎年一回、私学振興大会をパシフィコ国際会議場で行っております。その場に知事に来ていただいて要望を申し上げ、また多くの県会議員の先生方にも来ていただいています。そのおかげさまで、高校は今回2025年度の県の経常費補助金にしましては30年ぶりに全国最下位を脱することができました。高校は全国で29位。ただ、中学校の場合は変わらず、全国の中でまだほぼ最下位の状況です。今年度の私学振興大会は11月17日に開催します。ぜひ皆様にお集まりいただいて、そして訴えていただくといいことが大切だと思います。

神奈川の中高協会は、全国とは違った形で様々なことに取り組んでいます。

まず、不登校の子たちのための学習支援の場として修学支援センターを運営しています。子どもたちが通い、学び、そしてカウンセラーにも相談

できるといのは全国でも神奈川だけではありません。また、現在教員不足という課題がありますが、神奈川の中高協会においては大学3年生の教員志望者に予め登録してもらい各学校に繋いでいくという取組も進めていますし、特別教員免許状取得支援のための取り組みも行っています。オーバードクターや社会的キャリアを持つていて教員免許証を取らなかったという人たちに、それまでの社会経験を生かして教員免許状を取れることを積極的に推し進めるといふ全国に先駆けた活動をしています。やはり神奈川県は近代私学発祥の地でありますので、先陣を切つて様々な教育改革に臨んでいこうと考えています。

現在、自民党・公明党・日本維新の会による「二党合意」により、高等学校の授業料無償化という方針が文部科学省から出されています。今年度は所得に関係なく高校生は生徒一人当たり11万8000円、そして来年2026年度からは45万7000円が支給されるという検討に入っています。45万7000円はかなり大きな額ということになるわけですが、公立学校では生徒一人当たり132万円が税金から投入されています。これには校舎の増改築等の費用は一切入っておりません。私立学校の場合は、入学金から施設整備費、授業料等の保護者からの学納金に公的補助を加えても107万1308円。実際にかかっている費用というのは、公立よりも少なく生徒一人当たりこれだけの額です。

その45万7000円が、学費の補助として負担者の保護者の皆様に支給されます。ぜひ皆様方でしっかりと理解していただきたいのですが、学校にその分が増えるわけではないですね。45万7000円支給の件で、そうならば私立学校は授業料を上げるのではないかと、便乗値上げではないかと今マスコミはよく言っていますが、私立学校としても電気ガス・水道代、特にこの暑さですから空調を入れる時期も早くかなり光熱費の負担は大変上がっている

ます。また、教職員の給料も物価の値上げに応じ
て上げなくてはならない面があります。

45万7000円というのは皆様の授業料への補助
であります。それを持って学校が運営のための支
出額を上げずに授業料を据え置きできるかどうか
という点、現実には非常に厳しい状況ではないかと
考えています。この点を、私は多くいらつしやる皆
様の前で訴えておかなければいけないと思っていま
す。

皆様方は私学の独自性である「建学の精神」「自
治独立」に期待を寄せて、お子さまを私学に通わ
せていることと思います。それぞれの私学の独自
性が担保される中で、行政が適切に関わり、補助
金が増やされ、子どもたちの教育環境が良くなっ
ていく、これが最も大切なことだと思っております。
そのためには、私学にお子さんを通わせている保
護者の皆様が、声を一つにして行政に対して訴える
議員に対して訴える、首長である知事に対して訴
える、その力を継続していただくことが大切だと
思っております。

ぜひ皆様方、これからもまとまって、それぞれの
学校に対して、そして神奈川私学に対して、ご協
力を賜りますよう、協会を代表してお願いたし
たいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新役員紹介

理事 細川 大輔

(洗足学園中学高等学校 洗足会顧問)

神奈川県私学保護者会連
合会の理事に就任いたしまし
た、細川大輔と申します。

娘が2人おり、姉妹揃って
洗足学園中学高等学校にお世
話になっております。



洗足学園は謙虚にして慈愛に満ちた心、謙愛
を建学の精神として、思いやり、優しさ、人や社
会に対する奉仕の心を持つ社会に有為な女性を育
てます。さらに「理想は高遠に、実行は卑近に」
という教育理念のつとり、理想は高く持ちなが
らも身近なところから行動できる、そんな実行力
に富んだ女性の育成をはかっています。

学力形成と人間形成は教育における両輪であり、
バランスを欠くことはできません。中3までにしっ
かりとした学習習慣と学力の土台を作り上げ、高
校以降での応用・発展につながる柔軟な知識を定
着させます。進路選択の幅を狭めないためにも
全生徒を5教科必修とする体制への移行を行ってき
ました。同時に、学年での宿泊研修や生徒の自治
的活動、学外の活動への参加を通じて、主体的に
行動できる女性を育みます。

また、研究論文の執筆や社会的な問題をテーマ
にしたディベートなど、発達段階に応じた多様な
啓発が行われます。自治活動において実行委員会
を組織することや模擬国連・ビジネスグランプリへ
の挑戦などの自律的な活動を行うことは、多様な
他者との協調や広い視野の獲得にもつながります。

洗足学園には保護者の会として「洗足会」があり、
学校との連携・協力を図りながら、洗足学園に通
う生徒の学園生活の充実を目指して活動していま
す。保護者の皆様と学校との「橋渡し」をするこ
とにも、保護者同士の親睦の場も提供しています。
私は洗足会にて副会長を1年、会長を5年務め、
その活動を通じて、生徒たちにとって学習環境が
非常に重要であることを実感してまいりました。

この度、新たなご縁として理事の大役を務めさ
せていただくことになりました。これまでの経験
を活かし、先輩理事の皆さまや中高協会の先生方
のご指導の下、神奈川私学のさらなる発展と子
どもたちのために活動していきたいと思えます。
どうぞよろしくお願いいたします。

2025年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏 名	所 属 団 体
会 長	加賀美博之	聖光学院中学校高等学校 後援会副会長
副会長	飯塚 昇	横浜女学院中学校高等学校 PTA 会長
	庄司 由紀	横浜富士見丘学園中学校・高等学校 PTA 顧問
理 事	山田 弥生	サレジオ学院 保護者会顧問
	林山 明美	三浦学苑高等学校 後援会顧問
	佐藤富美恵	立花学園高等学校 PTA 参与
	関沢 朱美	横須賀学院 教育賛助会幹事
	米本真貴子	カリタス学園 後援会顧問
	細川 大輔	洗足学園中学高等学校 洗足会顧問
会計理事	鶴岡 和雄	横浜清風高等学校 PTA 常任顧問
	坂本 綾	柏木学園高等学校 後援会特別理事
監 事	青木八重子	横浜学園高等学校 後援会副会長
	阿部 浩	武相学園 PTA・後援会相談役



5月定時総会特別講演会

2025年5月22日(木)

『金融トラブル防止のための基礎知識』

あなたのお子さまは大丈夫？

日本貸金業協会 教育研修部 消費者啓発課長 千葉 園子 様



今回の特別講演会は、千葉園子先生を講師にお迎えしました。

金融庁の所管である日本貸金業協会は、消費者啓発活動をより一層拡充させる

ために「金融リテラシー向上コンソーシアム」という団体を立ち上げています。日本貸金業協会教育研修部において消費者啓発課長でいらっしゃる千葉先生は「金融リテラシー向上コンソーシアム」の活動として、高等学校等の教育機関に講師を派遣し「お金でつまずかない教育」をキャッチフレーズに「金融経済教育セミナー」に取り組んでおられます。

近年、金融犯罪等に関する手口が巧妙化し、さらに複雑化し、アルバイト詐欺や投資詐欺等に関するトラブルが、若者を中心に増加している状況です。今回の講演では、私たちや子どもたちの金融トラブル被害の未然防止のために、昨今のトラブルや被害の現状、特に若年層が被害に遭っている様々なケース等についてわかりやすくお話しただきました。参加者の皆様方は時折メモを取りながら熱心に耳を傾けておられました。

ご参加の皆様方よりお寄せいただいた講演のご感想をいくつかご紹介します。



● 知らないでいたカードの仕組み等、ちゃんと勉強した方が良いと思いました。特に高校生、大学生にも理解させたいと思いました。(小さい金額も大きい事になるということ)

● 具体的なトラブル事例などを挙げてお話しくださったので、とても分かりやすく参考になりました。

● 子どもにも伝えたい。学校毎セミナーをぜひ実施したいと思います。

● 18歳から有効な契約ができる成年年齢という意味がよく分かった。親の心構えとしてもよかったです。

● 子どもばかりでなく大人にとっても再確認する良い機会になりました。

● 高3生の保護者のため、親権に服さなくなることについて、あらためて意識する良い機会となりました。Q & A Bookもとてもためになりました。

● 最近のサギ手口等、金融トラブルの種類が多さと内容が知れて大変参考になりました。

● 普段知っているつもりになっていた事柄について、あらためて基本的な知識を確認できました。

● ニュースなどで聞くこと以外は知らなかったの、詳しく聞くことができて良かった。相談先も知れてよかった。子ども(学生)だけでなく大人もトラブルにまきこまれることがあるので、自分もふだんから気をつけようと思った。

● 限られた時間の中で、濃い内容の講座だったと思います。

● ゲームやスマホ・脱毛など子どもの生活に関する内容が入っていてとてもためになりました。ありがとうございました。

特別講演会 感想



理事 林山 明美
(三浦学苑高等学校 後援会顧問)

5月22日に私学会館にて日本貸金業協会 千葉園子様をお招きし、金融トラブル防止のための講演会を開催いたしました。

講演会のトピックスは大きくわけて5つです。

- ① 民法改正で成年年齢が18歳になったことによつて気をつけておくことは何か
- ② ローンとクレジットの基礎知識
- ③ 金融トラブルの事例
- ④ 被害にあった時の救済措置について
- ⑤ 困った時の相談先

18歳になると自分の自由な意思で契約ができ、高校を卒業して就職や進学をするこのタイミングが一番トラブルに遭いやすいことや、ゲームの課金問題では、決済に使われるクレジットカードが保護者名義だと未成年者契約の取り消しが認められないこと、また多重債務に陥る原因は生活の中にひそんでおり、依存症もその原因の一つ、誰でも陥る可能性はあるということなど、そして最近よく耳にするオンラインカジノなどの金融トラブル、救済制度、相談先まで大変わかりやすく教えていただきました。

日々の生活の中で、意識をしながらお金を使うということを実践し、子どもにも繋げ、正しい金銭感覚を養うことの重要性を感じました。

近年、闇バイトや悪質商法など様々な危険が子どもたちを取り巻き、またより巧妙になってきておりますので、ぜひ子どもたちにも知っておいて欲しい内容です。

今回ご参加いただいた皆様方から子どもたちにも受講させたいという言葉をいただきました。

金融リテラシー向上コンソーシアムでは、高校から大学等の教育機関に講師を派遣し金融トラブル被害防止のためのセミナーを無料で開催しており、セミナーの内容は要望に応じてカスタマイズしてくださるそうですので、皆様の学校でもぜひ開催されてはいかがでしょうか。

成年年齢になった子を持つ親としても、自身身の知識としても大変学ぶことの多い講演でした。ありがとうございました。



私立中学高等学校協会役員4名と私学保護者会連合会の役員3名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と各校の教育条件の維持向上に向けて、私学への「経常費補助」の増額等の要望を県議会議長に提出しました。

6月12日に全加盟校にお願いした「経常費補助」の増額に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から249名が集まり、県新庁舎の議長室において、中高協会の工藤誠一理事長と保護者会連合会の加賀美博之会長が代表して、長田進治県議会議長に提出しました。



県議会議長室での請願・署名の提出

私立学校への「経常費補助」の増額を求めて

9月8日 神奈川県庁新庁舎

長田進治県議会議長へ

請願・署名を提出

請願の理由

神奈川県は近代私学発祥の地であり、県下の私立中学校・中等教育学校・高等学校は、独自の伝統と校風を守り、建学の精神を現代に生かし、有為な人材の育成に努力し、本県教育の充実発展に貢献してまいりました。

幸い、本県においては、私学に対し、知事をはじめとする県当局並びに県議会議員の皆様の深いご理解とご支援のもとに、私学助成の充実が図られてきました。

さて、今日、私学経営はますます厳しい時代に入っております。とりわけ経常費補助金については、全国的に見ると生徒一人当たりの単価は、高等学校（全日制）は国の財政措置額を超えましたが、中学校、中等教育学校はともに国の財政措置額を大幅に割り込み、全都道府県の中で最も最下位に位置しております。

神奈川県は県下後期中等教育の約三分の一という役割を担っていることから、県下教育を担当している責務の重大さを痛感し、県民に信頼される個性豊かで、特色・魅力ある学校づくりのため、一層努力する所存であります。

つきましては、令和八年度私学助成に関し、左記の点に格段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

請願の内容

一、令和八年度の経常費補助については、一層の増額をお願いしたい。

『日私学保連総会
創立20周年記念式典・祝賀会』

8月8日(金)

副会長 飯塚 昇

(横浜女学院中学校高等学校 PTA会長)



暑さも厳しい、夏真っ盛りの8月8日、東京赤坂のホテルオークラ東京に於いて、日本私立中学校高等学校保護者会連合会の令和7年度総会、並びに創立20周年記念式典・祝賀会が行われました。全国より各県の代表者が集う中、我々役員一同も神奈川県私学保連を代表して、参加して参りました。

まず総会では、事業報告、決算報告、事業計画、予算、役員の異動などの議事が諮られました。昨今の「いわゆる高校無償化」など私学教育を取り巻く環境が変化の中で、私学助成の一層の充実に取り組み、質の高い教育を維持し、子どもたちの未来に寄与することを謳う総会決議を採択しました。

記念式典では、功労者に対する表彰が行われ、長年に渡り、神奈川県私学保護者会連合会の活動に携わって下さった鴨下前会長が代表して受賞者謝辞を述べられました。

引き続き催された祝賀会では、乾杯の後、祝宴が行われました。その際、短時間の滞在ではありましたが、小池百合子東京都知事が来賓でお見えになられ、スピーチの後、写真撮影にも応じられ、華やいだムードとなりました。

共通の立場で各県の方々とも意見交換などでもでき、有意義な会合であったと同時に、私学の益々の発展を願う一日となりました。

鴨下前会長 特別功労者表彰受賞！

日私学保連創立 20 周年記念式典 8月8日(金)

日私学保連創立20周年記念式典の場で、神奈川県私学保護者会連合会を長きに渡りお支えくださった鴨下博厚前会長が特別功労者表彰を受賞されました。鴨下前会長の功績は下の表の通りです。



年 度	神奈川保連	関東保連	日私学保連
2014年度	理事		
2015年度	理事		
2016年度	理事		
2017年度	副会長		
2018年度	副会長		
2019年度	会長	理事	代表者
2020年度	会長	理事	監事
2021年度	会長	理事・監事	監事
2022年度	会長	理事	監事
2023年度	会長	副会長	理事
2024年度	会長	会長・監事	副会長

鴨下前会長は神奈川県だけでなく、関東や全国の保護者会連合会でも多くの役職を歴任しご活躍されました。

神奈川会長職の際には世の中がコロナ禍になり、理事会の開催方法一つをとっても悩ましい時期でしたが、毎月各方面にご配慮をいただき理事会を運営してくださいました。また、コロナ後には『全国青少年育成研修会』を神奈川から開催させ、敏腕を振るわれ大成功に納めることを皮切りに以降も数々のご功績を残されました。

改めまして、この場をお借りし感謝申し上げます。鴨下前会長の常に優しい笑顔をお忘れません。本当にお疲れ様でございました。ありがとうございました。

『関東地区私立小・中・高等学校 保護者会連合会連絡協議会栃木大会』

理事会
6月27日(金)
代表者会・研修会 8月29日(金)

会長 加賀美 博之
(聖光学院中学校高等学校 後援会副会長)



関東地区私立小中高等学校保護者会連合会連絡協議会は、日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会(日私学保護)との親睦と連絡協力を図り、保護者の立場から私学振興に寄与することを目的として、関東各県(神奈川・埼玉・群馬・栃木・茨城・千葉)の私学保護者連合会で構成されています。本年度は栃木県が開催県となり、6月27日(金)に各県代表者による理事会、8月29日(金)には役員が参加する代表者会と研修会が行われました。

家庭での「何でもない話」の大切さ

研修会では、感性アナリスト、随筆家であり、2018年に『妻のトリセツ』をベストセラーとした(株)感性リサーチ代表取締役社長 黒川伊保子氏を講師に迎えました。

黒川氏は冒頭で「男女の脳は解剖学的には違いないが、〴〵脳のとっさの使い方〴〵に差があり、それがコミュニケーションギャップを生む」と指摘されました。夫婦や親子の身近な事例を交えながら、この違いをユーモアをまじえてわかりやすく解説してくださいました。

そのうえで紹介された演題は『我が子の笑顔が増えるたった一つのヒケツ』。AI時代に必要なのは、何でもない話〴〵ができる力〴〵。

AIは人の問いに答える装置にすぎず、その問いを立てるのは人間自身であること、そして家庭内で「何でもない話」が交わされることの大切さが語られました。家庭内でもスマホをみて家族の会話時間が減りがちな現代ですが、子どもは何気ない会話を通じて発想力を育み、問いを立てる力や課題を見つめる力を養うことができるということです。

先生がお伝えくださった内容はここに紹介しきれないほど多くありましたが、家庭での会話を見直す大きなヒントをいただいた有意義な研修会となりました。



報告する飯塚副会長



神奈川私学参加役員の挨拶

令和7年度薬物乱用防止講演会に参加して

上越教育大学大学院学校教育研究所
発達支援・心理臨床教育学系

講師 大宮 宗一郎氏

「若者は、なぜクスリを使うのか？」

〜スクールカウンセラーと依存症支援の現場から〜

監事 青木 八重子
(横浜学園高等学校 後援会副会長)



薬物使用の現状と統計では、違法薬物(覚せい剤)は使用者が減少しているが、大麻使用者は増加中。覚醒剤ユーザーの高齢化が進み、若者層では、身体に悪いと覚醒剤が敬遠されている傾向があり、市販薬や処方箋の乱用が急増し、問題視されています。

若者が薬物を使用する理由には次の点があります。○「正の強化」(気分の上昇)と「負の強化」(精神的苦痛の緩和)が存在し、自己治療的な使用

が多くみられ、市販薬乱用の背景には「シラフでいる事の苦痛」があり、これを克服するために薬物を選択する。○社会的・経済的・精神的等様々な生きにくさが引き起こす心理的な孤立感から他者との感情交流がなく、自分一人の力で対処する行動以外の方法を持たない。○不自信から適切に周囲に助けを求める事ができずに薬物使用を助長してしまふ。

私達は薬物使用や依存に対する正しい知識を持つこと。なぜ薬物を使うのかを正しく知り、健康問題として薬物を捉え、回復しようとしている人や家族を孤立させないこと。「絶対ダメ」と伝えるだけでは、本人も家族も相談に躊躇し、助けてと言えなくなる為、治療・支援につながりにくくなるという問題も起きています。

薬物依存症と聞くと、構えてしまいがちですが、アルコール依存症やタバコを止めるために通院する人と同じ健康問題と考ええると、共に考え、繋がりが、何か出来るのではないかと考えるようになりました。もっと多くの人に、聞いていただき、悩んでいる子ども達の為に思いを共有したい講演でした。

今年も 大盛況でした！

4月29日(火・祝) 中学相談会
7月21日(月・祝) 私学(高校)展

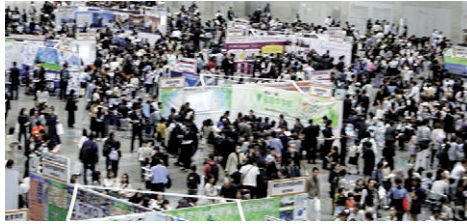
今年度も「神奈川私立中学相談会」がパシフィコ横浜にて4月29日に開催されました。多くの小学生や保護者の方々が会場に來られ、来場者は10,511人に上りました。参加校57校の各ブースでは説明や相談が行われ、全校参加によるスピーチリレー、私学なんでも相談コーナー、制服展示などの企画に、多くの来場者の方々が足を運んでくださいました。

また、私学(高校)展も同じくパシフィコ横浜にて7月21日に開催されました。来場者はなんと過去最高の39,993人でした。参加校59校の各ブースでの説明とPR活動、学費支援相談コーナー、そして制服展示の企画に加え、アネックスホールで行った講演会も多くの来場者の方々に賑わいました。

神奈川私学保護としても後援している二大イベントは、今年も大盛況の中無事に終了いたしました。



私学(高校)展



私立中学相談会

2025年度主な行事の出席

◆4月29日(火・祝)
神奈川私立中学相談会

*パシフィコ横浜
(鴨下会長・加賀美副会長)

◆6月9日(月)
薬物乱用防止講演会

*横浜市開港記念会館
(青木監事)

◆6月27日(金)
関東地区小・中・高等学校保護者会
連合会連絡協議会 理事会

*栃木県総合文化センター
(鴨下会長・加賀美会長)

◆7月12日(土)
全国高等学校総合文化祭

香川大会派遣激励会
*西公会堂
(加賀美会長)

◆7月21日(月・祝)
神奈川私学(高校)展

*パシフィコ横浜
(加賀美会長・庄司副会長・林山理事)

◆7月23日(水)
保護連7月研修事業

*横浜防災センター・崎陽軒本店
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長・山田理事・林山理事・関沢理事・米本理事・鶴岡会計理事・坂本会計理事・青木監事)

◆7月27日(日)
かながわ青少年みらいフォーラム

*横浜市開港記念会館
(山田理事)

◆7月29日(火)
令和7年度社会環境健全化
推進街頭キャンペーン

*関内駅
(山田理事)

◆7月30日(水)
令和7年度第1回神奈川県いじめ
問題対策連絡協議会

*かながわ県民センター
(加賀美会長)

◆7月31日(木)
令和7年度第2回
神奈川県公立高等学校協議会

*神奈川県私学(高校)展
(加賀美会長)

◆8月8日(金)
日私学保護連総会・
創立20周年記念式典

*ホテルオークラ東京
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長・山田理事・林山理事・佐藤理事・関沢理事・米本理事・細川理事・坂本会計理事・青木監事・阿部監事)

◆8月19日(火)
事務長会夏季研修会

*ロイヤルホール横浜
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

◆8月20日(水)
理事長・校長研修会

*崎陽軒本店
(加賀美会長・庄司副会長)

◆8月29日(金)
関東地区小・中・高等学校保護者会
連合会連絡協議会

*代表者会・研修会
*栃木県総合文化センター・ホテル東武グランデ
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長・山田理事・林山理事・佐藤理事・関沢理事・米本理事・坂本会計理事・青木監事・阿部監事)

◆9月8日(月)
神奈川県議会議員への
請願・署名提出

*神奈川県庁
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

◆11月5日(水)
私学振興全国大会

*文京シビックホール
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

◆11月17日(月)
神奈川県私立中学校・高等学校
振興大会

*パシフィコ横浜国際会議センター
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

◆11月21日(金)
青少年育成研修会京都大会

*間法会館・西本願寺
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

◆11月19日(月)
神奈川私学新春のつどい

*ローズホテル横浜
(加賀美会長・飯塚副会長・庄司副会長)

これからの行事

神奈川県私立中学高等学校案内

ホームページ

<https://phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』

〒221-0833

横浜市神奈川区高島台7番地5

神奈川県私学会館内

☎045(321)1901

■印刷所 『有限会社 イソノ』

〒235-0016

横浜市磯子区磯子3-10-4

☎045(753)2549